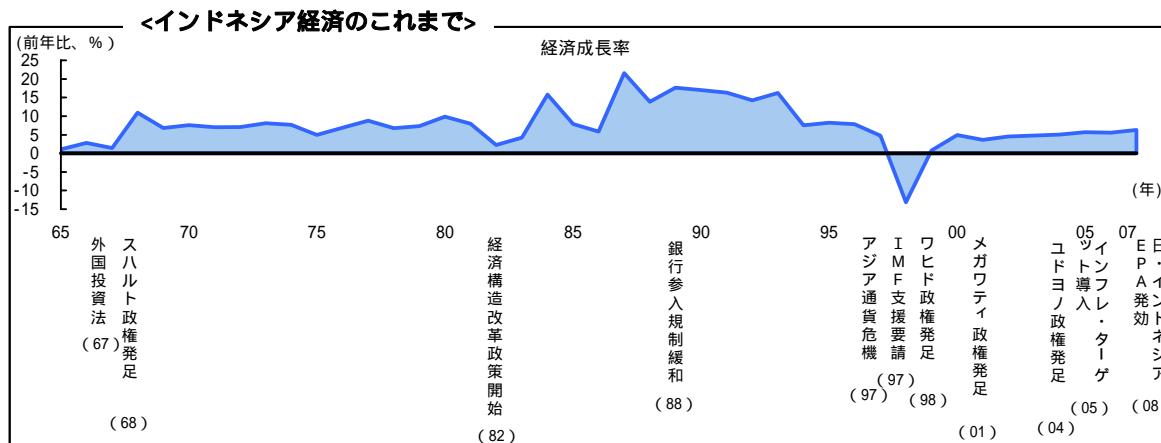


# 8 インドネシア

# Republic of Indonesia

<2007年>

人口	2億2,249万人 (日本の1.8倍)	財政会計年度	1月～12月
一人当たりGDP	1,924ドル	為替制度	管理フロート制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 13.8% 2次産業 46.7% 3次産業 39.4%	通貨	ルピア 1米ドル=9,143ルピア
		面積	186.0万km <sup>2</sup> (日本の約5倍)



インドネシアの主要経済指標

		97～06年	2007年	2008年見通し			2009年見通し			民間機関見通し
				政府	A DB	IMF	政府	A DB	IMF	
実質GDP	前年比%	2.6	6.3	6.4	6.1	6.0	6.0	5.0	4.5	実質GDP
個人消費	同上	3.1	5.0							2008年
固定資本投資	同上	1.4	9.2							平均 5.8
製造業生産	同上	2.0	5.6							最大 6.2
消費者物価	同上	14.0	6.4	6.5		10.0	6.2		9.0	最小 5.3
失業率	%	8.1	9.1							
経常収支	億米ドル		103.7							2009年
(GDP比)	%		(2.4)							平均 4.4
財政収支	億米ドル		53.3							最大 5.7
(GDP比、年度)	%		(1.2)		(1.1)	(1.0)		(1.0)	(1.0)	最小 3.5
政府債務残高	億米ドル		517.9							
(GDP比、年度末)	%		(12.0)							(7社)

(備考) インドネシア統計局、財務省、IMF "International Financial Statistics", "Government Finance Statistics", ADB "Key Indicators" による。  
08年政府見通しは08年度補正予算(08年4月)、09年政府見通しは09年度予算(08年10月)による。  
ADBは"Asia Economic Monitor 2008"(08年12月)、IMFは"Regional Economic Outlook"(08年11月)による。

## <2008～09年の経済>

2008年の経済成長率は、1～3月期は前年同期比6.3%、4～6月期は同6.4%、7～9月期は同6.1%となった。輸出が緩やかに増加する中、個人消費を始めとする内需が好調に推移した。消費者物価上昇率は、年初より徐々に騰勢を強め、5月の燃料統制価格の大幅引上げ(平均28.7%引上げ)以降は2けたの高い伸びとなっている(6～11月)。こうした物価情勢を受け、政策金利は08年5月以降ほぼ毎月引き上げられたが、世界経済の減速等を背景に12月には利下げに転じた。

08年通年の経済成長率は、堅調な個人消費等の内需がけん引し、6%台前半と見込まれる(政府見通し6.4%、民間機関7社の平均5.8%(08年12月時点))。09年は、輸出が減速するとみられるものの、個人消費等の内需が景気全体を支えることなどから5%程度の成長を維持すると見込まれる(政府見通し6.0%、民間機関7社の平均4.4%(同上))。また、消費者物価は、国際商品価格の大幅下落に伴い、08年12月には燃料統制価格の引下げが行われ、ガソリン等の価格が5月の価格引上げ前の水準に戻りつつあることから、今後一段と伸びが鈍化していくものとみられる。